

News Release

平成 20 年 3 月 27 日

報道関係各位

クインタイルズ、日本において臨床検査サービスを提供開始 ～日本における国際共同治験の受託サービス拡充のため メデカジャパン・ラボラトリーと戦略的業務提携～

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:成松 洋)は、国内臨床検査大手の株式会社メデカジャパン・ラボラトリー(本社:埼玉県鴻巣市、代表取締役:神成 裕)と業務提携し、世界で9番目のクインタイルズ・セントラル・ラボラトリーとして2008年4月1日より、治験に係わる臨床検査の受託業務を日本において開始します。

この業務提携は、アジア治験を含め高まりを見せる国際共同治験に係わる臨床検査業務をクインタイルズの全世界共通の基準で受託し、製薬企業に対し利便性と効率性を提供することを目指すクインタイルズと、治験業務の獲得を通じて業務拡大を目指すメデカジャパン・ラボラトリー、両社の意向が合致したものです。

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパンは、ヘルスケア・アウトソーシングにおいて世界最大手のクインタイルズ・トランスナショナルの日本法人で、グローバルの豊富な経験と実績により様々な臨床開発業務(臨床試験、モニタリング、データマネジメント、統計解析、GCP監査、薬事コンサルテーション、安全性情報管理、承認申請サポート、メディカル・ライティング、国際共同治験など)で高い評価をいただいています。今回、国際標準の治験ラボ業務を追加することで業務範囲を更に拡充します。

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパンの代表取締役社長である成松 洋は、「日本においても、クインタイルズのグローバルスタンダードで質の高い臨床検査サービスを提供できる体制が整い、これを基にさらに治験の推進や顧客へのサービスの充実化に努め貢献をしていきたいと思えます。」と述べています。

また、クインタイルズ・グローバル・セントラル・ラボラトリーのシニア・バイス・プレジデントであるトム・ウールマンは次のように述べています。「日本の製薬企業はアジア治験など海外での治験を拡大していますが、これまでアジア地域で調和のとれた臨床検査サービスを受けることが難しい状況でした。CAP(米国病理医協会)の認定を受けたクインタイルズの北京、シンガポール、ムンバイ、日本のラボラトリーをベースとして、アジア太平洋地域をカバーし、日本の顧客および海外の顧客に対し統制されたプロセスで調和のとれた臨床検査サービスを提供することができます。アジア地域のラボラトリーは、全世界のクインタイルズ・ラボラトリーと同じSOP(標準作業手順)で業務を行っており、データは当社QNETシステムのデータベースに保管されます。」

メデカジャパン・ラボラトリーは、CAP の認定を受け、生化学的検査や血液学検査および一般検査を中心に、内分泌学的検査、腫瘍マーカー検査、薬物血中濃度検査、免疫学的検査、微生物学的検査など、様々な分野で信頼性の高い臨床検査サービスを提供しています。これまで日本国内において全国約 4,000 の医療施設より検体検査の受託実績があります。その顧客には多数の大手製薬企業やグローバル CRO などが名を連ねます。

メデカジャパン・ラボラトリー社の代表取締役である神成 裕は次のように話しています。「当社がクインタイルズ社のアジア戦略の一端を担える能力があることを評価されたことは大変喜ばしいことです。今まで当社が受託している臨床検体数は一日 30,000 本以上ですが、治験分野の検体数は少なく、今後クインタイルズの知名度・営業力のもと当社の検査量が増え、設備稼働率が上がり、収益拡大に繋がることは大変なメリットです。また、世界的に大変高い評価を得ているクインタイルズ社の要求する品質を維持することで、メデカジャパン・ラボラトリーが国際レベルの品質と評価されることは大変好ましいことです。今回のクインタイルズ社との提携が、今後のメデカジャパン・ラボラトリーの発展に非常に有効であることを確信しています。」

この戦略的業務提携により、国内外の製薬企業は国際共同治験における試験結果毎の比較困難性や非調和に係る課題を克服できることになり、国際共同治験においてグローバルで標準化された比較可能な検査方法により調和された検査結果を元に、正確かつ迅速に新薬の申請につなげることが可能となります。また、クインタイルズ・グループにおけるグローバルの資源を最適な方法で提供することにより、日本国内外の製薬企業のニーズに応え、日本市場におけるドラッグラグの解消、世界同時開発を目指した国際共同治験に貢献するサービスを提供します。

米クインタイルズ

クインタイルズ・トランスナショナル・コーポレーションは、医薬品開発、ファイナンシャル・パートナーリング、ヘルスケア及びバイオテクノロジー製品の販売の分野に関し、専門的で幅広いサービスを提供することで次世代のヘルスケア産業の向上に貢献する企業です。世界 50 カ国以上の拠点に 19,000 人以上のスタッフを擁し、業界のスタンダードとなる顧客中心のソリューション提供を目指しています。

<http://www.quintiles.com>

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

クインタイルズ・グループの日本法人であり、CRO（臨床開発事業本部）、CSO（イノベックス事業本部）、ノバクエストをはじめ、戦略的マーケティング情報の提供サービス、コンサルティングなどのトータルなソリューションを提供する医薬品業務受託機関（CPO）として日本をリードする企業です。

<http://www.quintiles.co.jp>

クインタイルズ・セントラル・ラボラトリー・サービス (QLAB)

クインタイルズ・ラボラトリーは、グローバル・ローカル共に全フェーズの臨床検査サービスを提供する世界最大のセントラル・ラボラトリーのひとつです。治験デザイン、テストセレクション、方法論、ロジスティックなど初期段階のコンサルティングサポートから始まり、テクニカルレビューや国際共同治験のセットアップ、マネジメントチームの組成、革新的プロジェクト管理ツールを活用したプロジェクト管理、データマネジメント業務、治験責任医師のサポート、データベースデザイン、検体管理サービス、ロジスティック管理、QNET 等ウェブベースでの管理ツールを活用したレポート業務、ファイナンシャルレポート管理等、治験業務に必要なすべての業務に関し、世界で標準化され一貫した手法でサービスを提供します。

アメリカ合衆国（本部：アトランタ）、イギリス（エジンバラ）、南アフリカ共和国（プレトリア）、インド（ムンバイ）、中国（北京）、シンガポール、ブラジル（サンパウロ）、アルゼンチン（ブエノスアイレス）、など世界主要 8 都市に及ぶネットワークを持ち、今回の業務提携により、日本（埼玉県）にサービス拠点を追加しました。

<http://www.quintiles.com/ServicesSolutions/ClinicalTrials/CentralLab.htm>

株式会社 メデカジャパン・ラボラトリー

株式会社メデカジャパンより分社した株式会社 メデカジャパン・ラボラトリーは、様々な臨床検査の受託施設です。

常に最新の技術と最新の検査機器でお客様のニーズに応えるべく正確、迅速な検査体制を構築しております。

品質管理におきましても、質の高いサービスを提供するための品質管理体制を構築し、米国のCAPを初めとして国内外の臨床検査の認定施設となっております。

また、臨床検査を基盤に食品検査、水質検査、大気検査等の環境検査も受託し、幅広いサービスの提供をしています。

<http://www.mjl.co.jp>

株式会社メデカジャパン

株式会社メデカジャパンは、日本中に介護事業を展開している介護事業界のリーディングカンパニーです。

現在、「そよ風」ブランドとしてデイサービス、グループホーム、ショートステイ、有料老人ホームなど複合的なケアセンターを137拠点直営しています。

<http://www.medcajapan.co.jp>

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

広報部 林 秀樹 電話：03-3531-9628 FAX：03-3531-9325

携帯：090-5360-5008 E-mail：hideki.hayashi@quintiles.com